

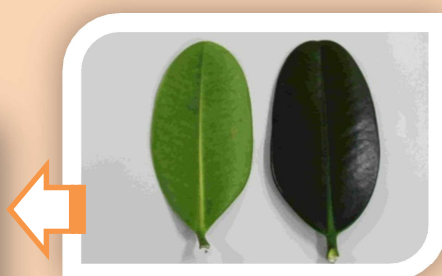
西表島の似たものの植物

フクギ

オトギリソウ科

特徴 常緑高木で新枝は四角形で稜があり、密に毛が生える。葉は厚い革質で対生し、長楕円形または楕円形で長さ 8～12cm、全縁で光沢がある。雌雄異株。花は葉腋に集まってつき、白色で径約 1.5cm。果実は球形で径約 4cm、種子は 3、4 個。果実は食用とはならず、コウモリが好んで食べる程度である。沖縄では防風・防火林にする。樹皮から黄色染料がとれ、紅型染めに用いる。

分布 沖縄、宮古、八重山の各諸島、および台湾、フィリピン分布。



葉が裏側に反る



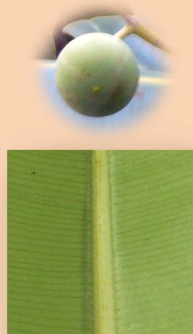
真っ直ぐな樹幹が多い

テリハボク

オトギリソウ科

特徴 常緑高木で高さ 20m 以上に達する。葉は堅い革質で対生し、楕円形または長楕円形で全縁、長さ 10～15cm。中央脈は裏面に突出し、側脈は互いに平行、表面は光沢がある。総状花序を腋生し、白色で径約 4cm の香りのある四弁花を開く。雄しべは黄色で多数ある。核果は球形で径約 3cm、種子が 1 個ある。海岸に生え、防風林、街路樹に適する。また材は堅くて光沢があり、樹皮は染料、種子の油は外用薬とする。

分布 小笠原、沖縄、宮古、八重山の各諸島、および台湾、熱帯アジア、マダガスカル、ポリネシアに分布。



細かい平行な側脈



葉が表側に反る



曲がった樹幹が多い